

パネルディスカッション

過去から学ぶ 復興まちづくりのマネジメント



玄海島



奥尻島

「東北の復興が遅々として進まない」、そんな論調が広がるなか、いまいちど過去の復興まちづくりの現場を経験した生の声から多くを学び、復興への追い風を吹かせたいと考える。

追い風はどこから吹くのか？ それは被災された地域住民からか、それとも行政職員からなのか。はたまた、サポートに入る建築士や研究者か。おそらく、そこに定式化された解は存在しない。それでも、誰かが、人が、その風を巻き起こすことだけは確かなことなのである。

そうした関心から、本シンポジウムでは、復興まちづくり推進のため、住民合意形成、計画スケジュール管理、費用負担調整等を、より多くの関係主体が納得、共感できる状況を生み出していく取り組みを「復興マネジメント」と呼び、それが過去の事例でどのように展開され、機能していったのかをみていくことにする。

具体的には、玄海島や奥尻島といった相対的には東日本大震災とは規模や複雑さが異なるが、このサイズだから見えてくる「復興マネジメント」のポイントをすくい上げて、現在進行形の復興に活かしていく議論を展開させたいと考える。

日時 平成26年

2月15日(土)
14:00~17:00

参加
無料

申込
不要

会場

東北工業大学
一番町ロビー4階ホール

仙台市青葉区一番町 1-3-1 ニッセイ仙台ビル

プログラム

- モデレータ
新井 信幸(東北工業大学准教授)
- パネリスト
牧 敦司(醇建築まちづくり研究所)
「玄海島復興のマネジメント」
竹田 彰(奥尻町総務課長)
「奥尻島復興のマネジメント」
阿部 重憲(地域計画研究所代表)
「仙台東部の復興・再生をめざす
ネットワーク形成の役割と課題
～協働による復興マネージメント
の確立を求めて～」
- コメンテーター
服部 岑生(千葉大学名誉教授)
櫻井 一弥(東北学院大学准教授)
小杉 学(東北工業大学准教授)

主催:東北工業大学 工学部建築学科 新井信幸研究室 共催:新建築家技術者集団宮城支部

問い合わせ先:e-mail no-arai@tohtech.ac.jp Tel 022-305-3614